



秋田南ロータリークラブ

国際ロータリー第2540地区 創立1980年3月8日

2020-2021 会長 石黒 学

幹事 進藤 大

第1883回例会 2020年10月8日



早朝クリーンアップ例会 奉仕プロジェクト委員会

○午前6時30分～ アキタパークホテル～旭北小学校周辺 清掃活動 (参加者17名)

○午前7時30分～ 朝食会(レストランニューパーク)



国際ロータリー第2540地区

ガバナー 工藤智教様 ご講話 (前号の続き)

(6)「四つのテスト」の効用

客観的に、物事を決める上で助けとなる。その要は「内省」です。私は自問します。「自分は正直か」「自分のしていることは正しいか」

(7)クラブの形式、例会の形式は多様性を持って対応可能

一座に座って共に食事をする例会形式は一番よい例会と断定はできない。例えば、オンライン例会と顔を合わせての例会を組み合わせることで変化を出す。通常の連絡はスマートフォンで、等々。形式はいろいろあっていい。多世代クラブは理想的で、女性会員も多い方がよい。

(8)若い世代の入会:既存クラブに若い世代を入会一方法は「社会環境に焦点を当てること」

①山火事によるCO2の増加②プラスチックの消費を減らす③冷房や暖房を効かせすぎない④車を飛ばしすぎない…若い人は私たちから行動のインスピレーションを学ぶ。ローターアクトクラブの設立も方法の一つ。

(9)新会員を育てる

新会員は会員数増のための要員ではない。ロータリー活動を行うための資源である。新会員をロータリアンに育てる必要がある。退会者が外に向けて言うロータリー観はRのイメージに影響する。退会者も生涯のロータリアンであるように教育しよう。新会員から私たちが学ぶ点もある。

(10)戦略会議 年に一度以上開く。5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員にもたらす価値がどのようなものかを認識するために。

(11)ロータリーの友情

世界のどこへ行こうと出会ったロータリアンと親友になる。私たちは異なる緩急、異なる世代、言葉、文化を持っている。ロータリーの過ごし方でさえ国によって、またクラブによって異なる。この多様性こそがロータリーを成長させる。【ロータリーは、多様性、公平性、開放性が根底にある。持続可能な変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指すグローバルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、性別、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性的指向、性自認、にかかわらずあらゆる背景を持つ人の文化を理解しあう寛容な心】

(12)ロータリーの要

①ロータリーは、自分自身を、事業を、職種・業界を、そして社会全体を向上させる運動である。②究極の目的は、世間から信頼・尊敬される素晴らしい真のロータリアンを育てることである。③「四つのテスト」④高潔性、奉仕、多様性、親睦、リーダーシップ⑤価値観の共有と硬い友情でつながる。⑥私たちはロータリーがもたらす機会を信じている。ほかの人々にとつての機会であり、私たち自身にとつての機会である。奉仕の行いはその大小にかかわらず助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると信じている。⑦リーダーシップの機会を与える。名誉・栄光のためにではなく人々のためにリーダーシップへの道を切り開いてあげるこそ、真のロータリーの理念である。⑧どんな奉仕の行いもインスピレーションを与えることで、私たちを変える力を持っていると信じている。⑨持続可能な奉仕プロジェクトの実施⑩ロータリー人生を楽しみましょう。クラブを成長させましょう。ロータリーを成長させましょう。

⑪善人の要人は 他を先とし 己を後とす